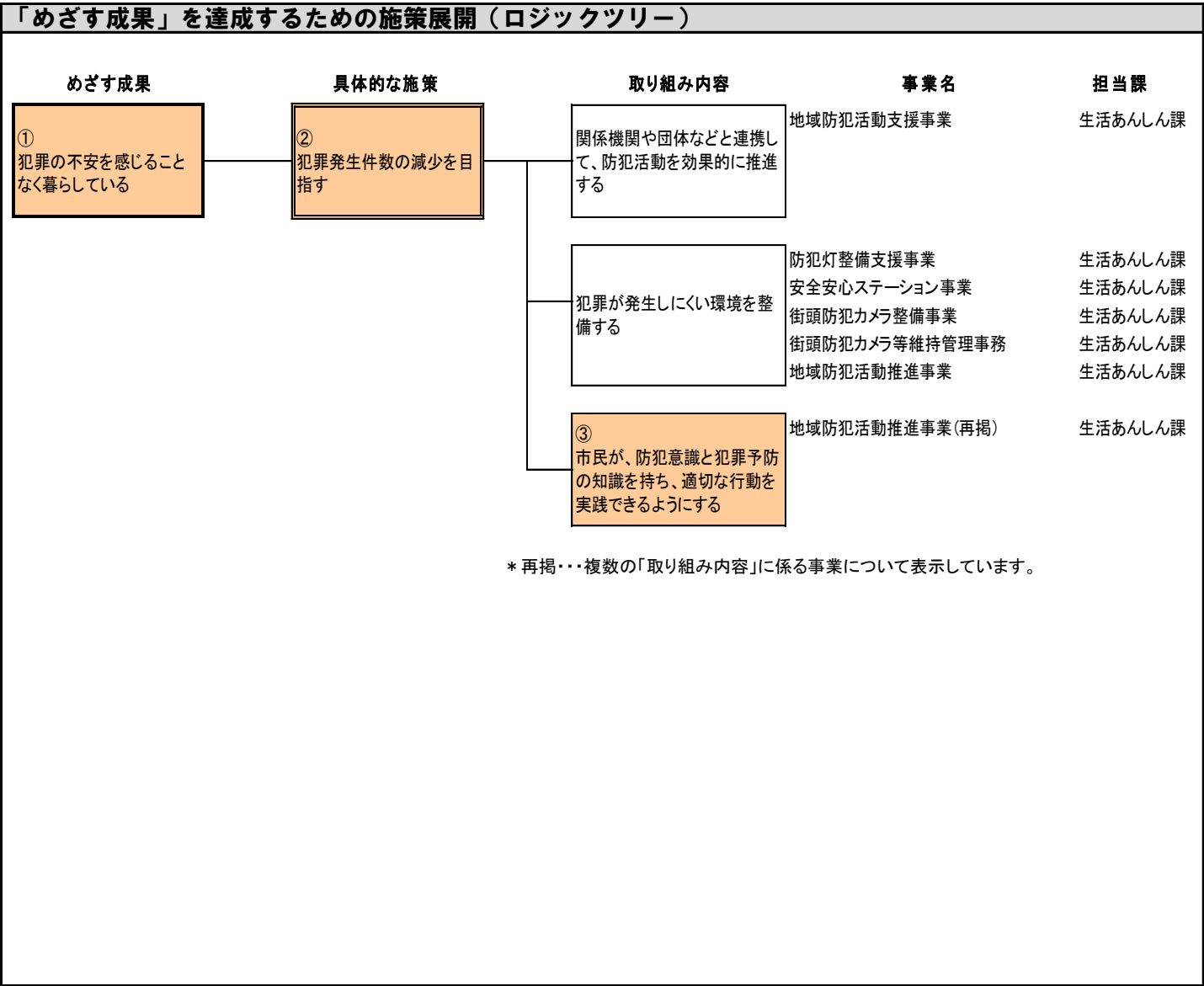


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
3－1－1 犯罪の不安を感じることなく暮らしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	生活の安全性を高める
	めざす成果	犯罪の不安を感じることなく暮らしている
		市民の防犯意識が高まり、地域の防犯活動が進む中で、窃盗などの犯罪にあうことが少なくなっています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合		年間犯罪発生件数		防犯パトロールを実施している自治会の割合	
計画策定時 現状値	34.8%	計画策定時 現状値	4,040件	計画策定時 現状値	66.3%
実績値 (H24)		実績値 (H24)	2,499件	実績値 (H24)	80.3%
中間目標値 (H23)	40.0%	中間目標値 (H23)	3,750件	中間目標値 (H23)	70.0%
目標値 (H25)	50.0%	目標値 (H25)	3,500件	目標値 (H25)	80.0%

所 管 部	市民経済部
平成24年度までの取り組み内容	【犯罪発生件数の減少を目指す】 ・大和市防犯協会が行う、功労者の表彰や防犯キャンペーン、市民まつりでの防犯コーナー設置などへの支援を通じ、市民に対して防犯意識の啓発に努めました。 ・自主防犯活動団体に対して、活動物品の購入費や青色防犯パトロールに要する経費を補助することにより、地域の防犯活動が活発に行われるよう支援しました。 ・民間の防犯活動団体との協働などにより、地域や保育園、小学校などにおいて防犯教室等を開催し、個人の犯罪に対する知識の向上を図りました。 ・公用車による青色防犯パトロールの実施や、国の緊急雇用創出事業を活用した青色防犯パトロール等の実施を通して、犯罪発生の抑止に取り組みました。 ・メール配信サービス、広報やまと等により、市民へ犯罪発生情報を提供しました。 ・自治会連絡協議会と協力して、防犯灯の整備を行いました。 ・安全安心ステーション高座渋谷を運営するとともに、市内各駅前広場等への街頭防犯カメラの設置、大規模公園への防犯緊急通報装置の設置により、犯罪発生の抑止及び市民等の体感治安の向上を図りました。 ・客引き行為等防止重点地区における条例違反者に対して注意、指導を行い、条例施行前に比べ客引きの数を半減することができました。
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・市内では、犯罪発生認知件数が4年連続で減少し、4年前に比べ約6割の件数となりましたが、地域別に見ると県内では常にトップクラスの件数であり、犯罪の抑制には今後も力を入れていく必要があります。 ・市として継続的に防犯活動を行うとともに、環境整備や金銭的な補助など地域住民の方々の防犯活動を支援することにより、警察や行政の手の届かないところへのきめ細かな対応が期待でき、犯罪発生に対して大きな抑止に繋がると考えられます。
今後の展開方針	
注）．例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	（該当する事務事業）
既存事業の拡充	（該当する事務事業） 地域防犯活動推進事業 地域防犯活動支援事業 街頭防犯カメラ整備事業
事業の廃止・縮減	（該当する事務事業）
事業の効率化	（該当する事務事業）
その他見直し	（該当する事務事業） 防犯灯整備支援事業